

連合「なんでも労働相談ダイヤル」 ☎ 0120-154-052  
2018年8月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体として、924件の相談が寄せられた。特徴として、年代別では20代(108件・14.6%)・30代(143件・19.4%)・50代(170件・23.0%)、雇用形態別ではパート(166件・19.1%)、業種別では医療・福祉(114件・17.8%)からの相談が、前年同月と比べて件数・割合ともに増加したことがあげられる。

■相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」(142件・15.3%)が6ヵ月連続で最も多くなり、「退職金・退職手続」(100件・10.8%)・「年次有給休暇」(47件・5.1%)とともに、前年同月と比べて件数・割合ともに増加していることが目立った。

■具体的な相談では、「福祉施設へ勤務しているが、従業員の入退職が激しく、ペアでしていた仕事を一人でやらなければならない、仕事量も増え残業も多く休憩もまともに取れない状況で肉体的に参っている。」「遠方に住む親の介護が必要となり、仕事を辞めたくないが退職せざるを得ないため上司に相談したところ、後任の確保ができないと言われ、退職の手続きをしてほしい。」などが寄せられた。

		2018年				2017年			
集計対象期間		8月1日～8月31日				8月1日～8月31日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		924				880			
報告(本部・地方)数		48				48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	内容	件数	割合
性別 (未報告除く)	男性	490	53.0%	男性	477	54.7%	女性	395	45.3%
	女性	434	47.0%	女性	395	45.3%			
年代 (不明除く)	10代	5	0.7%	10代	7	1.0%			
	20代	108	14.6%	20代	97	14.0%			
	30代	143	19.4%	30代	131	18.9%			
	40代	235	31.8%	40代	221	31.9%			
	50代	170	23.0%	50代	157	22.7%			
	60代	68	9.2%	60代	67	9.7%			
	70代	10	1.4%	70代	13	1.9%			
雇用形態 (不明除く)	正社員	441	50.6%	正社員	432	53.2%			
	パート	166	19.1%	パート	125	15.4%			
	アルバイト	56	6.4%	アルバイト	55	6.8%			
	派遣社員	51	5.9%	派遣社員	53	6.5%			
	契約社員	72	8.3%	契約社員	75	9.2%			
	嘱託社員	12	1.4%	嘱託社員	14	1.7%			
	臨時・非常勤職員	10	1.1%	臨時・非常勤職員	11	1.4%			
	その他	63	7.2%	その他	47	5.8%			
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	114	17.8%	サービス業(他に分類されないもの)	110	17.6%		
	2位	製造業	104	16.3%	製造業	104	16.8%		
	3位	サービス業(他に分類されないもの)	86	13.5%	卸売・小売業	90	14.4%		
	4位	卸売・小売業	77	12.1%	医療・福祉	88	14.1%		
	5位	運輸業	54	8.4%	飲食店・宿泊業	45	7.2%		
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	142	15.3%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	141	16.0%		
	2位	退職金・退職手続	100	10.8%	雇用契約・就業規則	84	9.6%		
	3位	解雇・退職強要・契約打切	72	7.8%	退職金・退職手続	76	8.6%		
	4位	雇用契約・就業規則	68	7.4%	解雇・退職強要・契約打切	74	8.4%		
	5位	年次有給休暇	47	5.1%	年次有給休暇	40	4.6%		
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	18	2.2%	新聞・雑誌	14	2.0%			
	ラジオ・テレビ	5	0.6%	ラジオ・テレビ	23	3.2%			
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	81	10.0%	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	82	11.5%			
	ホームページ	501	61.7%	ホームページ	415	58.1%			
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	21	2.6%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	7	1.0%			
	紹介(労基署等)	51	6.3%	紹介(労基署等)	34	4.8%			
その他	135	16.6%	その他	139	19.5%				

【参考】2018年8月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 55件